

年 月 日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2014年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人マチエール

花 音

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

一期一笑

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

「使い捨て」が当たり前の時代の中で物の価値を見直し、有限な資源を無限の消費から守り、再利用することで次の世代に大切な資源を残していくことを理念にリサイクルショップを運営してきましたが在庫商品のなかで「着物」の再利用が課題となっていました。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

在庫として管理されている着物を提供されてきた衣服等にミシンを使ってアレンジすることで「和」と「洋」のコラボレーションを狙ったデザインの服に仕上げます。既存の洋風デザインにあえて着物の持つ和テイストを大胆に付加することで今までの品揃えと違った商品を生み出します。商品に付加価値を付けて販売することで商品そのものの価値、魅力を上げ、販売促進につなげていきます。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

製作時に一番苦戦したのは裁断でした。生地がとこもしなやかなので何本もの線を引くのがとても困難でしたが、反物の特性を利用して複雑な線引きは避けて横一直線のみ線と引きその後裁断するのに行きました。(効率が断然よくなりました)作業開始当初は裁縫が好きな方(利用者さん)に参加していたのですが、その結果、細かい作業が困難な利用者さんにも参加いただけるようになりました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

地域の皆様からいただいたとても高価な着物の仕立てとほとくとは緊張しました。思い出しのたぶん詰め下着物としかに有効活用できるか? いろいろ思いと考えると真剣に取り組まなければいけないと言いつつも作業を進めてきました。これから先、こんなものに再利用したと喜ばれるのかよく考えて進めていこうと考えています。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし



